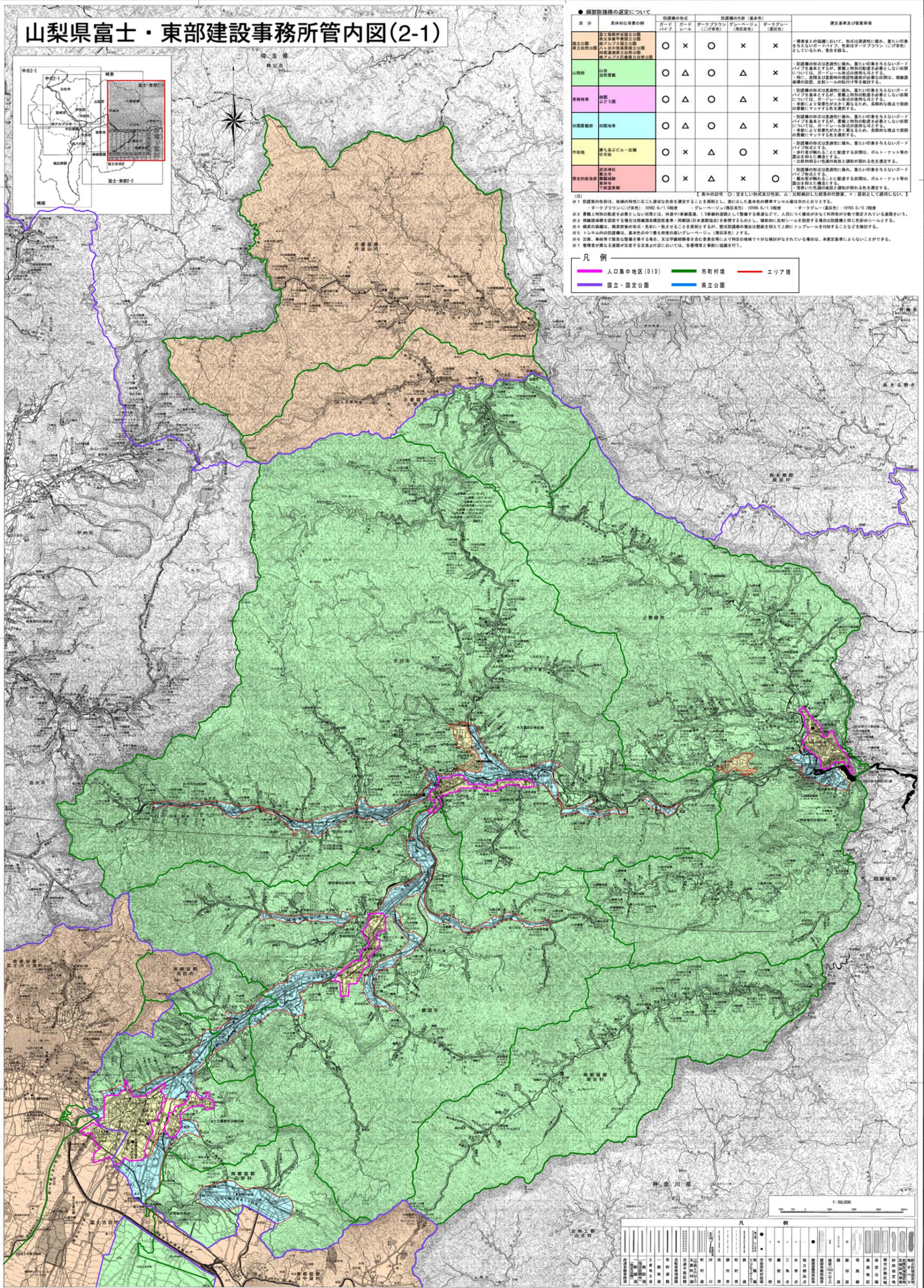


防護柵景観検討エリア区分図

富士・東部建設事務所管内図2-1

山梨県富士・東部建設事務所管内図(2-1)



● 防護柵の選定について

区分	具体的な対象の例	防護柵の形式					防護柵の色群(基本色)					選定基準及び留意事項	
		ガードパイプ	ガードレール	ダークブラウン(こげ茶色)	グレーベージュ(薄灰茶色)	ダークグレー(濃灰茶色)	ダークブラウン(こげ茶色)	グレーベージュ(薄灰茶色)	ダークグレー(濃灰茶色)	ダークブラウン(こげ茶色)	グレーベージュ(薄灰茶色)		ダークグレー(濃灰茶色)
国立公園	富士山国立公園 八ヶ岳国立公園 新緑国立公園 阿蘇山国立公園	○	×	○	×	×	×	×	×	×	×	×	・ 景観との調和において、形式は適性に依り、重たい印象を与えないガードパイプ、色群はダークブラウン(こげ茶色)としているため、留意事項。
山部	自然景観	○	△	○	△	×	×	×	×	×	×	×	・ 防護柵の形式は適性に依り、重たい印象を与えないガードパイプを基本とするが、景観上特種の配慮を必要としない区画については、ガードレール形式の使用も可とする。 ・ 特種、景観上特種の配慮が必要な区画は、視線誘導の観点、反対側の妨げ等を検討する。
景観地帯	特種景観	○	△	○	△	×	×	×	×	×	×	×	・ 防護柵の形式は適性に依り、重たい印象を与えないガードパイプを基本とするが、景観上特種の配慮を必要としない区画については、ガードレール形式の使用も可とする。 ・ 景観により景観性が大きく異なるため、長期的観点で周囲の景観にマッチする色を選択する。
市街地	市街地	○	△	○	△	×	×	×	×	×	×	×	・ 防護柵の形式は適性に依り、重たい印象を与えないガードパイプを基本とするが、景観上特種の配慮を必要としない区画については、ガードレール形式の使用も可とする。 ・ 景観により景観性が大きく異なるため、長期的観点で周囲の景観にマッチする色を選択する。
市街地	市街地	○	×	△	○	×	×	×	×	×	×	×	・ 防護柵の形式は適性に依り、重たい印象を与えないガードパイプを基本とするが、景観上特種の配慮を必要としない区画については、ガードレール形式の使用も可とする。 ・ 景観により景観性が大きく異なるため、長期的観点で周囲の景観にマッチする色を選択する。
歴史的景観	歴史的景観	○	×	△	×	○	×	×	×	×	×	×	・ 防護柵の形式は適性に依り、重たい印象を与えないガードパイプを基本とするが、景観上特種の配慮を必要としない区画については、ガードレール形式の使用も可とする。 ・ 景観により景観性が大きく異なるため、長期的観点で周囲の景観にマッチする色を選択する。

【表中の記号】○：適した形式及び色群、△：比較検討した結果の代替案、×：原則として適用しない。
 ※1 防護柵の色群は、地域の特性に応じて適切な色群を選択することを原則とし、表に示した基本色の標準マンセル値は次のとおりとする。
 ダークブラウン(こげ茶色)：10YR 5/1 0程度、グレーベージュ(薄灰茶色)：10YR 6/1 0程度、ダークグレー(濃灰茶色)：10YR 5/1 2程度
 ※2 景観上特種の配慮を必要としない区画とは、特種の景観地帯、1.景観的価値として認められる景観地帯で、人目に付き易い景観が少なく周囲が景観的に調和している道路等、景観的価値を認める場合は景観地帯景観地帯、景観地帯(日本景観協会)を参照するものとし、補助的に5対5対5を認める場合は防護柵と同じ色のゲートとする。
 ※3 橋梁の高欄は、橋梁前後の形式・色群に一致させることを原則とするが、形式防護柵の場合は景観を損ねず上部にトップレールを付加することなどを検討する。
 ※4 トンネル内の防護柵は、基本色の中で最も明度の高いグレーベージュ(薄灰茶色)とする。
 ※5 実質、事故等で緊急な整備を要する場合は、又は申請経験者を含む委員会等により特定の地域で十分な検討がなされている場合は、本選定基準に準拠しないことができる。
 ※6 景観性が異なる道路が交差する交差点付近においては、各管理者と事前に協議を行う。

凡例
 人口集中地区(DID) 市町村境 エリア境
 国立・国定公園 県立公園



富士・東部建設事務所管内図(大月)